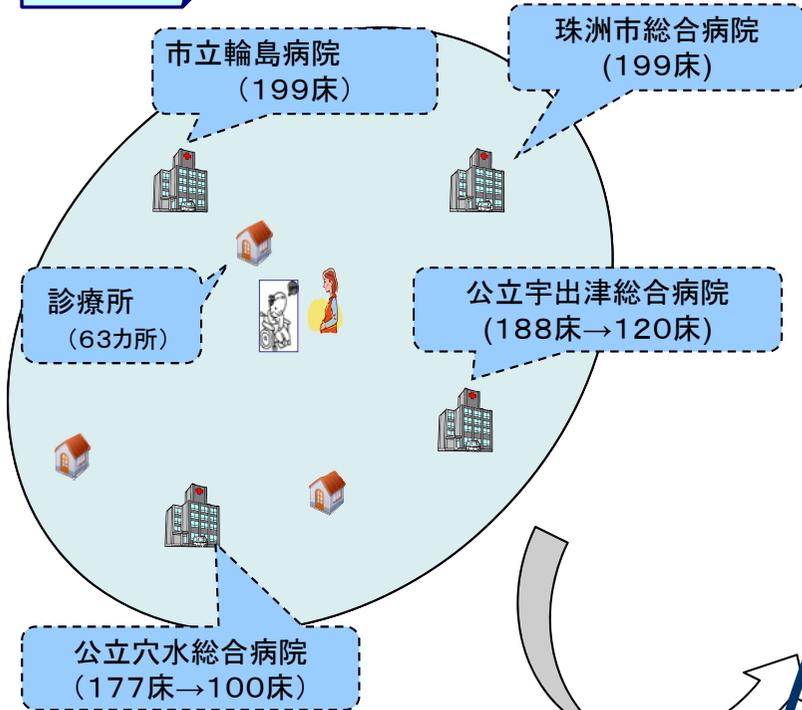


石川県地域医療再生計画(能登北部医療圏: 医師確保対策・救急医療対策等に重点化)

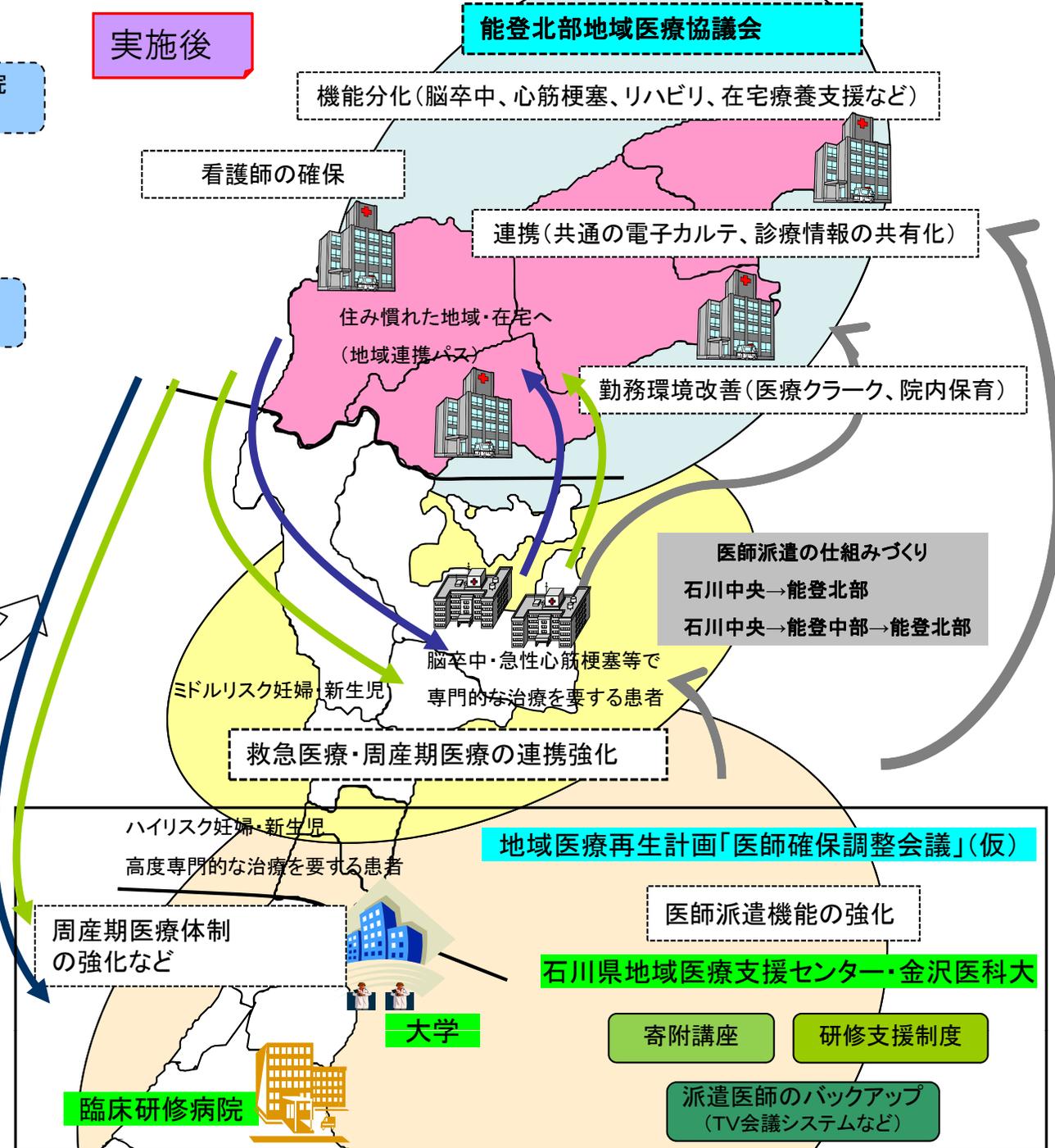
現状



課題

- 常勤医師が減少し、地域医療の維持に課題を抱えている。
能登北部4病院で▲11人(H21-H15)
- 能登北部4病院間で機能分化と連携が必ずしも十分ではない
- 救急医療・周産期医療等において、他の医療圏との連携強化が求められている。
(能登中部・石川中央医療圏の体制強化も必要)

実施後



能登北部医療圏における課題を解決する方策①

1 課題を解決する方策

① 課題：能登北部4病院などの常勤医師数が減少しており、地域医療の維持に課題を抱えている。

目標：大学の医師派遣機能の強化等を通じて能登北部医療圏の医師を確保する。

(能登北部への直接的な医師派遣、能登中部の医師を増員し、能登中部から能登北部への診療支援)

対策：医師確保対策事業

(1) 寄附講座等による医師派遣の仕組みの構築

・寄附講座の教員による診療支援を行いつつ、当該医療圏の医療ニーズや医療提供体制などを把握し、医師派遣の仕組みを研究するものである。

(2) 後期研修医等を対象とした研修支援制度の創設

・後期研修医等の研修を支援し、地域の医療機関への医師派遣につなげるものである。

(3) 診療情報を共有化するためのIT基盤の整備やTV会議システムの設置による派遣医師の支援

・派遣医師に対するバックアップを行うために診療情報を共有化するためのIT基盤を整備するとともに、TV会議システムの導入により派遣元のカンファレンス等に参加できるようにするものである。

(4) 「ふるさと石川の医療大使」を中心とした首都圏ネットワークの活用

・石川県地域医療人材バンクの取組を強化し、即戦力となるUIターン医師を招聘するものである。

(5) 医学研修シミュレーションセンター事業・臨床研修病院への支援

・魅力的な研修環境を確保し、研修医の県内定着を図るためのものである。

(6) 金沢大学医学類特別枠の拡充

・金沢大学医学類特別枠の入学者(拡充分)に修学資金を貸与し、地域医療に貢献する医師を確保するためのものである。

(7) 勤務医の勤務環境の改善

・医療クラークの配置により勤務環境を改善するものである。

(8) 女性医師確保対策事業

・女性医師支援センターの機能強化や院内保育所・院内の病児保育施設等の整備など女性医師の就労継続支援を行うためのものである。

医師確保対策の年次計画

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29以降
地域医療再生計画	寄附講座による大学からの医師派遣 後期研修医等への研修支援				研修支援に伴う義務年限			
金沢大学 医学類特別枠	特別枠入学者への修学資金貸与					卒後臨床研修		修学資金貸与者の義務年限

能登北部医療圏における課題を解決する方策②

②課題 : 能登北部医療圏に勤務する看護師を十分に確保できない状況にある。

目標 : 潜在看護師の確保、新卒看護師の確保、看護職員等の勤務環境の改善、看護師の資質の向上

対策 : 看護師確保対策事業

(1) 離職者の再就職支援

・ナースバンクの体制を強化するとともに、ハローワークとの連携を強化し、離職者の再就職支援を行うものである。

(2) 看護師修学資金貸与制度の充実

・能登北部の病院への就業希望者に対する修学資金貸与制度を拡充し、新卒看護師の確保を図るためのものである。

(3) 新人看護職員卒後研修の実施、院内保育所の整備など勤務環境の改善

・新人看護職員に対する卒後臨床研修の実施や院内保育所などの整備を行う医療機関を支援し、看護職員に勤務環境の改善を図るものである。

(4) 看護師等学校養成所の実習環境の整備

・多様な看護判断を身につけるため看護師等学校養成所に実習器材を配備するものである。

③課題 : 能登北部4病院の相互連携や他の医療圏との連携必ずしも十分ではない

目標 : 能登北部4病院の拠点化と連携強化、他の医療圏との連携強化、周産期医療・救急医療の体制強化

対策 : 地域医療連携対策事業

(1) 能登北部医療圏における脳卒中診療・心臓病診療、リハビリ・在宅医療体制等の機能強化

・能登北部地域医療協議会における検討や寄附講座の設置等の医師確保対策によるマンパワーの強化を踏まえつつ、診療機器の整備などを通じて診療機能の強化を行うものである。

(2) 能登北部4病院で共通の電子カルテシステムの導入

・能登北部4病院で共通の電子カルテを導入し、相互の診療支援の充実など連携強化につなげるものである。

(3) 能登中部医療圏との連携強化

・遠隔画像診断支援装置の整備などにより、能登北部医療圏から能登中部医療圏への脳卒中等の救急患者の転院搬送を円滑化するなど、医療圏を超えた連携を強化するものである。

(4) 石川中央医療圏における周産期医療等の強化

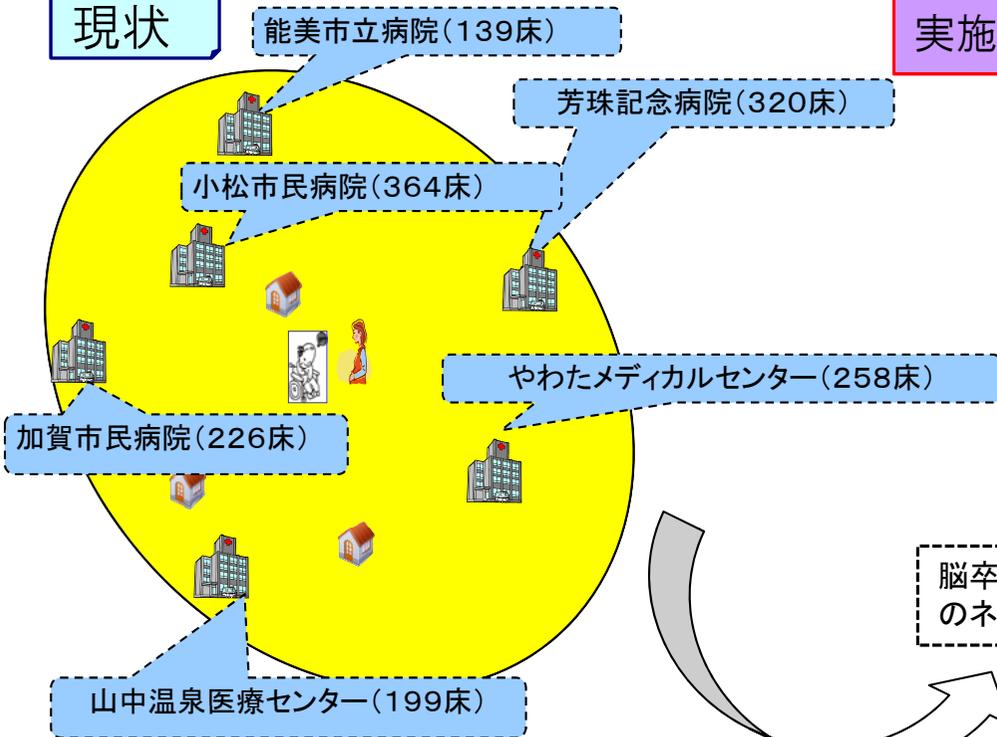
・NICUの増床など周産期医療体制等を強化するものである。

2. 地域医療再生計画終了後の姿

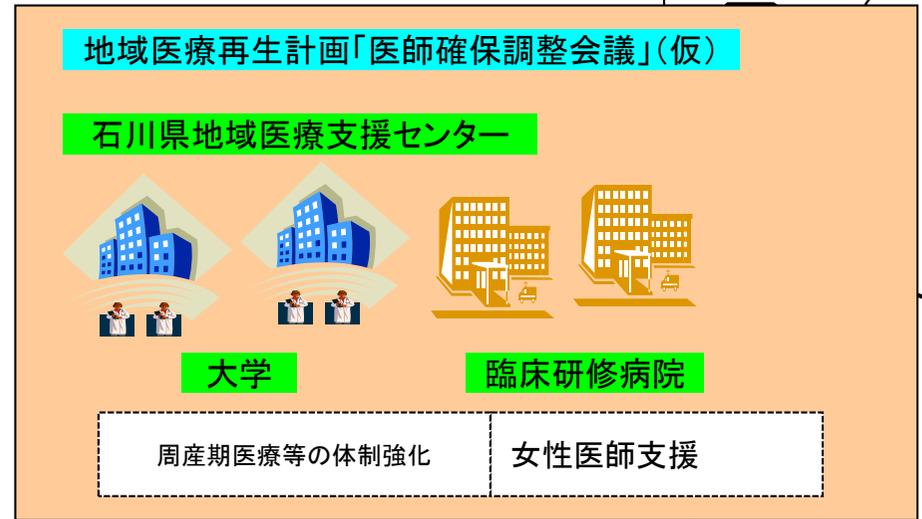
この地域は、医師確保・看護師確保が進み、能登中部医療圏や石川中央医療圏と救急医療・周産期医療等において連携が強化されることにより、地域医療が強化される。

石川県地域医療再生計画(南加賀医療圏:救急医療対策・周産期医療対策等に重点化)

現状



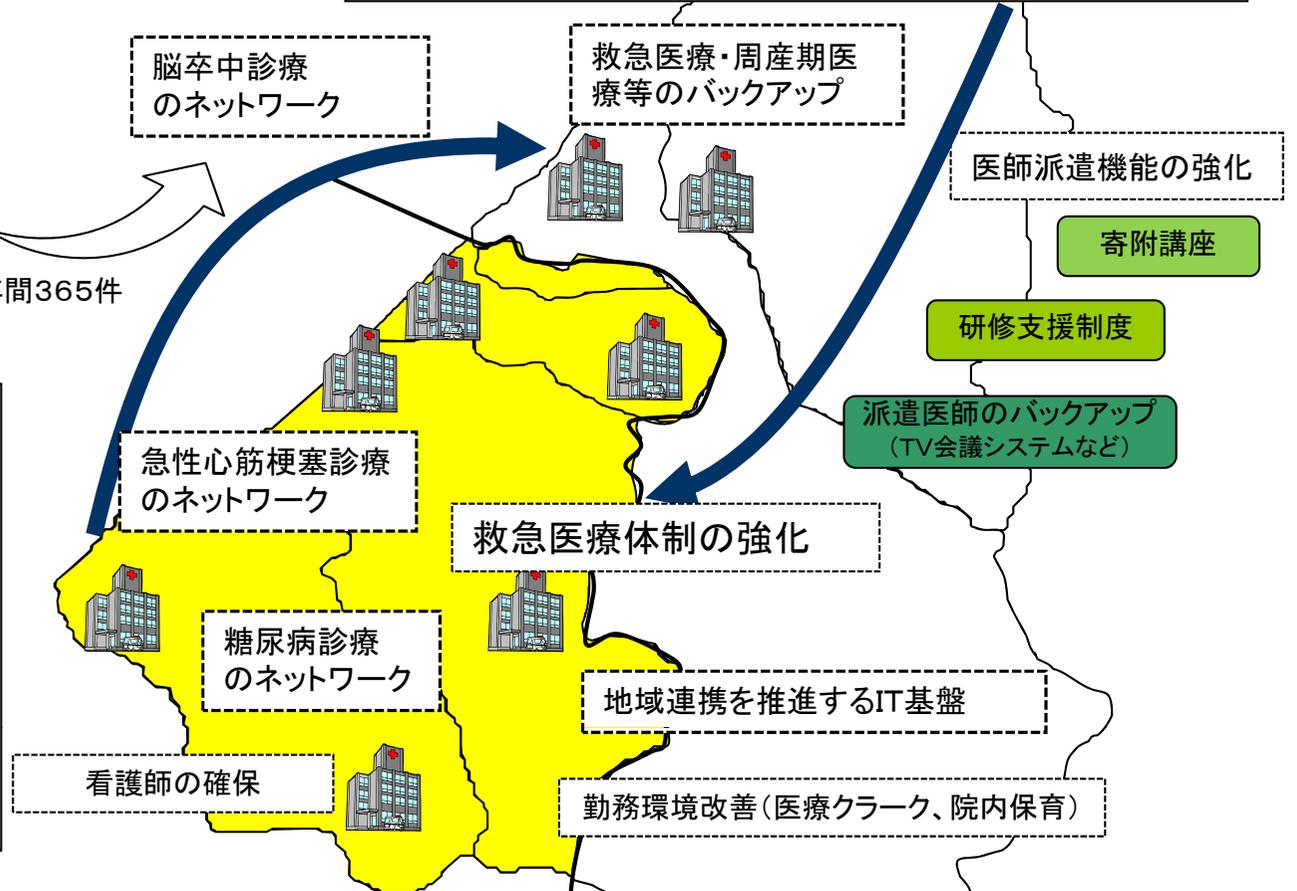
実施後



課題

※病床数(100床以上)、救急搬送件数(年間365件以上)の病院のみを記載

- 救急告示病院が減少する中(H15:12カ所→H21:8カ所)で、医療圏外への救急搬送が多くなっている
- 南加賀医療圏の病院に勤務する医師が減少し地域医療の維持に課題を抱えている。
南加賀医療圏の全病院の常勤医師数
▲5人(H21-H15)
- 脳卒中や急性心筋梗塞などの疾病ごとに地域の医療機関の連携強化が求められている。



南加賀医療圏における課題を解決する方策①

1 課題を解決する方策

- ① 課題：救急告示病院が減少しており、地域医療の維持に課題を抱えている。
 目標：大学の医師派遣機能の強化等を通じて南加賀医療圏の医師を確保する。
 対策：医師確保対策事業
- (1) 寄附講座等による医師派遣の仕組みの構築
 - ・寄附講座の教員による診療支援を行いつつ、当該医療圏の医療ニーズや医療提供体制などを把握し、医師派遣の仕組みを研究するものである。
 - (2) 後期研修医等を対象とした研修支援制度の創設
 - ・後期研修医等の研修を支援し、地域の医療機関への医師派遣につなげるものである。
 - (3) 診療情報を共有化するためのIT基盤の整備やTV会議システムの設置による派遣医師の支援
 - ・派遣医師に対するバックアップを行うために診療情報を共有化するためのIT基盤を整備するとともに、TV会議システムの導入により派遣元のカンファレンス等に参加できるようにするものである。
 - (4) 「ふるさと石川の医療大使」を中心とした首都圏ネットワークの活用
 - ・石川県地域医療人材バンクの取組を強化し、即戦力となるUIターン医師を招聘するものである。
 - (5) 医学研修シミュレーションセンター事業・臨床研修病院への支援
 - ・魅力的な研修環境を確保し、研修医の県内定着を図るためのものである。
 - (6) 金沢大学医学類特別枠の拡充
 - ・金沢大学医学類特別枠の入学者(拡充分)に修学資金を貸与し、地域医療に貢献する医師を確保するためのものである。
 - (7) 勤務医の勤務環境の改善
 - ・医療クラークの配置により勤務環境を改善するものである。
 - (8) 女性医師確保対策事業
 - ・女性医師支援センターの機能強化や院内保育所・院内の病児保育施設等の整備など女性医師の就労継続支援を行うためのものである。

医師確保対策の年次計画

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29以降
地域医療再生計画	寄附講座による大学からの医師派遣 後期研修医等への研修支援				研修支援に伴う義務年限			
金沢大学 医学類特別枠	特別枠入学者への修学資金貸与					卒後臨床研修		修学資金貸与者の義務年限

南加賀医療圏における課題を解決する方策②

② 課題：南加賀医療圏に勤務する看護師を十分に確保できない状況にある。

目標：潜在看護師の確保、新卒看護師の確保、看護職員等の勤務環境の改善、看護師の資質の向上

対策：看護師確保対策事業

(1) 離職者の再就職支援

・ナースバンクの体制を強化するとともに、ハローワークとの連携を強化し、離職者の再就職支援を行うものである。

(2) 新人看護職員卒後研修の実施、院内保育所の整備など勤務環境の改善

・新人看護職員に対する卒後臨床研修の実施や院内保育所などの整備を行う医療機関を支援し、看護職員等の勤務環境の改善を図るものである。

(3) 看護師等学校養成所の実習環境の整備

・多様な看護判断を身につけるため看護師等学校養成所に実習器材を配備するものである。

③課題：救急告示病院が減少する中で、他の医療圏への救急搬送が増加している

目標：南加賀医療圏における救急医療体制の強化、地域連携体制の強化、周産期医療・救急医療の体制強化

対策：地域医療連携対策事業

(1) 救急医療ネットワークの構築

・地域の中核病院の体制強化を図るなど地域全体の医療連携を推進するものである。

(2) 脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病等の地域連携体制の構築

・地域連携パスの事務局体制の強化など行い、医療機関相互の連携を強化するものである。

(3) 診療情報を共有化するためのIT基盤の整備

・中核的な医療機関や診療所の間で診療情報を共有するためのIT基盤を整備し、医療機関相互の連携を促進するものである。

(4) 石川中央医療圏における周産期医療等の強化

・NICUの増床など周産期医療体制等を強化する。

2. 地域医療再生計画終了後の姿

この地域は、医師確保・看護師確保が進み、救急医療体制が強化されるとともに、主な疾病ごとの地域連携体制が構築される。また、石川中央医療圏と救急医療・周産期医療等において連携が強化されることにより、地域医療が強化される。